

外来種



体色が全体に黒っぽく、胸ビレが大きい。口が受け口にならない。北潟湖産 全長:約100cm

ウナギ科 ウナギ属 【標準全長】120cm

ヨーロッパウナギ？

学名: *Anguilla anguilla*

分布域

原産地はヨーロッパ全域と
アフリカ北西部。

生息域

河川下流～中流域・平野部の
湖沼などに生息する。



大変丈夫。北潟湖産 全長95cm

ニホンウナギとよく似る。原産地はヨーロッパ全域とアフリカの北西部。日本には養殖用として稚魚(シラスウナギ)が輸入された時期がある。日本国内では本種の養殖はあまり成功しなかった様です。ニホンウナギと比較すると本種は体色が暗褐色で、胸鰭が大きいのが特徴。写真の個体は上顎が下顎より長い。本種の産卵場所は大西洋のバミューダ付近とされ、ニホンウナギと交雑する可能性は極めて低く、日本で繁殖する可能性も低い。現在では過去に放流されたものの一部が、極稀に確認される程度で、近い将来いなくなると思われる。

本種は原産地でも生息数が減少しているようだ。※ 写真の個体は未同定。

外来種

回遊魚？

※ ウナギは日本人にとって重要な食用魚で、ニホンウナギが取れなくなったことで、また、どこかのウナギが輸入されるのだろうか。世界中で、13種以上のウナギが知られている。